

第10回 静岡チャレンジド・サッカーフェスティバル募集要項

【静岡県知的障害者サッカー選手権大会】

＜大会理念＞

- I サッカーを通して、スポーツの楽しさ・厳しさを体験することで、知的障害者の自立と社会参加の可能性を探る。
- II 大会を行うことで、知的障害者とそのスポーツ活動に対する社会一般の理解と認識を深めると共に、知的障害者のサッカー競技レベルの向上と普及をはかる。

【大会実施要項】

大会名 第10回静岡チャレンジド・サッカーフェスティバル
【静岡県知的障害者サッカー選手権大会】

主催 一般財団法人静岡県サッカー協会

主管 一般財団法人静岡県サッカー協会ハンディキャップ委員会

後援 静岡県、静岡県教育委員会、(財)静岡県障害者スポーツ協会、
静岡県特別支援学校長会、静岡県手をつなぐ育成会、静岡県知的障害者福祉協会

特別協賛 公益法人アサヒ健康振興協会、農業生産法人(有)アサヒ健幸ファーム
株式会社ケネリック、農業特区特定認定法人(有)アサヒコーポレーション
聖隷クリストファー大学、聖隷クリストファー大学院博士課程
聖隷クリストファー中、高等学校、聖隷クリストファーこども園

協賛 プーマジャパン株式会社

協力 ㈱ヤマハリゾートつま恋、ホンカ磐田(有)ネイチャーフィールド、㈱旭ビジョン

大会期日 平成24年5月27日(日)

大会会場 つま恋グラウンド

- 参加資格
- ①平成24年4月1日現在で満13歳以上の知的障害者で構成されているチーム。
中学校、特別支援学校のクラブ、施設や作業所のチーム、地域クラブ等、チームの母体は問わない。
 - ②選手・スタッフ共にスポーツ障害保険に加入していること。
 - ③1チームの人数は、選手18名とする。

④大会本部が参加を認めるチーム

※本大会への参加を希望する方については、開閉会式、競技中において、大会本部より許可された報道関係者における新聞やテレビ放映のための写真撮影、VTR 撮影等についてのことを了承した上で参加申し込みをお願いします。ただし、個人写真の使用、個人に対してのインタビュー等については、事前に承諾の確認を取ります。

運営方法 富士山カップ(一般、高校)、駿河カップ、浜名湖カップの4カップ戦を行う。各カップの参加基準ないが、富士山カップについては、2012 年度(財)日本サッカー協会競技規則に沿って行うことができるチーム、駿河カップについては、ほぼ 2012 年度(財)日本サッカー協会競技規則に沿って行うことができるチーム、浜名湖カップについては、参加チーム同士の話し合いの上でルールの変更が可能なチームの参加が望ましい。

1 競技規則

平成 24 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則によるもののほか、この要領に定めるところによる。

(参考)平成 24 年度全国障害者スポーツ大会競技規則 サッカーの部

第1条 原則

本規則に定める以外は、同年度(財)日本サッカー協会競技規則による。

第2条 競技者の数

1チームの編成は 18 名以内とし、男女を問わない。

第3条 競技時間

富士山カップはハーフタイム 5 分をはさんで、前後半 20 分(高校生の部は前後半各 15 分とする。駿河カップ、浜名湖カップは前後半各 10 分(ハーフタイムなし)とする。

2 チーム

チーム編成は、監督 1 人、コーチ 2 名、付添者 2 名及び選手 18 名(男女混合可)の合計 23 名以内とする。付添者については本部に申し出て許可を得る。

3 競技方法

- (1) 各カップの試合はリーグ戦を行い、その結果により順位決定戦を行う。ただし、参加チームが少ない場合は、全チームによるリーグ戦を行う。また参加チームが多い場合はトーナメント方式で行う場合もある。
- (2) リーグ戦の順位決定は勝ち点(勝ち 3 点、引き分け 1 点 負け 0 点)、得失点、総得点、該当チーム同士の対戦結果により順位を決定する。すべて同じ場合は当該チームの代表による抽選とする。順位決定戦及びトーナメントについては、試合が終わり同点の場合は PK 戦を行う。各カップの決勝戦は各チーム 5 人による PK 戦を行い、同点の場合は一人ずつ勝敗が決まるまで行う。各カップ戦の決勝以外は 3 人による PK 戦を行う。
- (3) 試合球は 5 号検定球とする。
- (4) 選手の交代については、試合前に登録した 7 名の交代要員の交代が認められる。なお、この大

会は自由な交代とし、交代して退いた競技者が交代要員となって再び出場できる。その際の選手交代は、第4の審判員のチェックを受け主審の承認を得た後行う。

- (5) テクニカルエリアを設ける。監督等チーム役員は、その都度1名がテクニカルエリアから戦術的指示を与えることができる。指示を与えたら所定の位置に戻る。全てのチーム役員は、その中にとどまる。また、責任のある態度で行動する。

4 表彰

- (1) 各カップ1位にメダルと賞状、2, 3位に賞状が贈られる。

5 開閉会式

- (1) 開会式(9:00~9:15)

- ・開会の言葉
- ・大会会長挨拶
- ・来賓あいさつ
- ・来賓紹介
- ・競技上の注意
- ・選手宣誓
- ・閉会の言葉

- (2) 閉会式(15:00~15:15)

- ・開会の言葉
- ・成績発表
- ・表彰
- ・講評
- ・閉会の言葉

6 召集

- (1) 富士山カップについてはメンバー表(監督 1 名・コーチ2名・選手18名、付添者2名の合計23名)は、試合ごとに試合開始 30 分前までに各会場本部に提出すること。(用紙は各チームで用意すること)

※駿河カップ、浜名湖カップについては、この限りではない。

- (2) 召集開始時刻は原則として開始 5 分前とする。

7 服装

- (1) チームは会場に色彩の異なり判別しやすいフィールドプレーヤー・ゴールキーパーそれぞれ正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。背番号は1番から 18 番までの通し番号が望ましい。
- (2) フィールドプレーヤーがゴールキーパーと交代するときは、もと着ていたユニフォームと同じ背番号を使用する。その際、ユニフォームの用意がないときは、ビブス(各チームで用意)で代用することができる。

8 申し込み方法

別紙申込用紙に必要事項を書き込み申し込み先へメールにてお送りください。

<事務局>

〒431-1206

浜松市西区庄和町 2503

浜松特別支援学校朝霧分教室 田中敏美

TEL 053-487-2516 FAX 053-487-2540

E-mail ma-ri-tanaka@rx.tnc.ne.jp

※メールで参加希望等、知らせて頂ければ、様式(申込用紙)を送ります。

9 申し込み締め切り

平成 24 年 4 月 20 日(金)

10 その他

- (1) 開会式前の監督者会議の場において、申し合わせ事項を設ける場合があります。
- (2) 各チームのベンチは、組合せ表の若い番号になったチームがグラウンドに向かって左側とします。
- (3) 大会(競技)に関する不明な点は大会本部にお問い合わせください。
- (4) 荒天時等の取り扱いは、主催者において別途定める。
- (5) 大会中のけがについては、応急処置については大会本部で行いますが、病院の手配、保険(加入も含め)などの対応については各チームで対応してください。
- (6) **ハンディキャップ委員会運営協力金**
ハンディキャップ委員会協力金として1チームにつき3,000円をお願いします。
- (7) 今年度の富士山カップ(高校生の部)については、東海特別支援学校高等部サッカー大会の静岡予選を兼ねるため本大会の上位2校については東海特別支援学校高等部サッカー大会の出場権を与える。